

地方独立行政法人山梨県立病院機構 令和4年度業務実績報告について

1 全体評価

	S	A	B	C	D	計
R4	19	17	4	0	0	40
R3	18	17	5	0	0	40
増減	1	0	△1	0	0	0

2 評価を変更した項目及びその理由

(1) AからSに上げた項目

○(10)心神喪失者等医療観察法に基づく医療

県立北病院は、「心神喪失者等医療観察法」に基づく、県内唯一の指定入院医療機関として、多職種治療チーム（MDT）による手厚い医療を提供し、退院と社会復帰を進めています。

北病院における医療観察法病床数は、5床であり令和4年度における稼働率は、100%となっております。特に、令和4年8月から令和5年2月の間は、関東信越厚生局の要請を受けて2人の対象者を受け入れ、特例的に6人目として、対象患者が入院できない事態を回避するなど、司法精神医療にも貢献して参りました。

また、通院対象者に対しては、多職種治療チーム（MDT）による治療体制を継続する中で、デイケアや訪問看護も実施し、多くの通院患者を支える体制を継続しています。なお、令和4年度末現在では、新規患者2人、通院対象者は3人でありましたが、多職種治療チーム（MDT）の継続した取り組みにより、2名が退院しました。

（医療観察法指定入院医療関連会議における全国34病院中での状況）

令和4年3月に開催された医療観察法指定入院医療機関連絡会議における、厚生労働省精神・障害保健課資料においては、全国34病院のうち、県立北病院を含む5病院※1のみがコロナ前2年内及びコロナ禍2年間の退院率が、いずれも全国平均※2を上回っており、コロナ禍の中にあっても質の高い医療を提供しました。

※1 厚生労働省資料より（本県名のみが記載され、他県名は不開示となっております）。

※2 当院のコロナ前2年間、コロナ禍2年間の退院率は、ともに0.3。

全国平均は、コロナ前が0.26、コロナ禍が0.21程度。

(2) BからAに上げた項目

○(39) 積極的な情報公開

病院機構、中央病院及び北病院が、それぞれホームページを開設し、診療案内や公開講座の他、評価委員会の評価、理事会の議事録等の積極的な情報公開に取り組みました。

特に、中央病院では、古いコンテンツの更新に努めたことにより、ホームページの閲覧数は、前年度と比べて25.0%増の310,699件となりました。適時、情報を更新することで、県民が求める医療情報にも貢献しており、外来患者数の増加にも効果が表れています。

また、中央病院公式YouTubeチャンネル（YCHキャスト）を開設しました。現在、「がんゲノム医療について」、「総合診療・感染症科紹介」・「看護師紹介」など、計13本の動画を掲載しており、先進的な取り組みをわかりやすく情報発信する取り組みを

行いました。なお、令和5年6月現在の視聴実績は、約48,000回となっています。

更に、中央病院と北病院の医師等により、特定疾患の治療方法をわかりやすく解説する「やまなし医療最前線」や「医療広告」を山梨日日新聞紙面上に毎月2回（第2・第4木曜日）掲載することで、県民の方が必要とする医療情報を提供しています。

その他、山梨県立中央病院年報を、全国の主要な280の病院等に配布するなど、積極的な情報公開を実施して参りました。